



EMERGENCY™ first response

ダイバーなら、知っておきたい。

いざというとき役に立つ、 応急処置。

エマージェンシー・ファースト・レスポンス (EFR) は、応急処置の手順を楽しく学べるプログラム。最新の国際基準、医療的ガイドラインにもとづいたCPR (心肺蘇生法・一次ケア) とファースト・エイド (応急手当・二次ケア) のマスターを目的に開発されました。

生命をおびやかす事故や事態は、ある時突然にやってきます。まして陸上とは異なる環境である海をフィールドとするダイバーにとって、そんな「いざというとき」の対処法をマスターしていることは、とても大切です。

だから、少しでも早く知っておいてほしいのです。かけがえない命をしっかり守ること。それはダイバーを目指す者の常識であると、PADIは考えています。

オープン・ウォーター・ダイバー・コースから始める
エマージェンシー・ファースト・レスポンスのすすめ

OWD + EFR = 頼もしいダイバー

オープン・ウォーター・ダイバー

エマージェンシー・ファースト・レスポンス

ダイビング中に起こるアクシデントにも
あわてないで対処できるのがPADIダイバーです。

いくら健康や体力に自信があっても、
ダイビング中に緊急事態が発生する可能性は
決してゼロではありません。

ダイビングをするには、健康であることが必要です。しかし同時に、当日の気温や水温、水圧などの環境要因によって、陸上では想像できなかった緊急事態が発生しうる可能性を秘めているのもダイビングです。たとえば、ダイビング特有のトラブルである減圧症や肺の過膨張障害になったとき、EFRを受けていれば、あわてることなく適切な対処にあたるのが可能になります。

もしもバディに、何かあったら……。
そんなときに躊躇なく行動できるって、
とっても頼もしい。

バディ・システムはダイビングのルールです。疲れているダイバーを水面で曳行するなど、オープン・ウォーター・ダイバー・コースでもアクシデントに対してどう行動するかを学びますが、これはいわばバディとして身につけておくべき最低限の対処法。EFRを受けていれば、もしものときに、お互いがきちんと蘇生法を処置できます。そんな心強い海の仲間と潜れるなんて、スゴイことです。

オープン・ウォーター・ダイバーは
自分を守るということをつねに心がけているのです。

オープン・ウォーター・ダイバーになったら、インストラクターなどの監督者なしでもダイビングができるようになります。ということは、いつもプロフェッショナルが近くにいる、緊急時でもすばやく蘇生法を実施してくれる、とは限らないわけです。陸上では決して味わえないようなワクワク感やドキドキ感を求める意欲旺盛なダイバーこそ、応急処置をマスターして安全なダイビングを心がけるべきなのです。

知っておくなら、早ければ早いほどいい。エマージェンシー・ファースト・レスポンス。

CPR (心肺蘇生法)

人工呼吸・心臓マッサージなど
生命に関わる緊急時のためのケアをカバーする
コースです。万が一の際に躊躇することなく手が
差しのべられるように学習します。

ファースト・エイド (応急手当)

止血・ケガの手当・包帯の使い方など
即座に生命に関わらないケガや病氣、救急車が
到着するのに時間がかかる場合などを想定した
コースです。

AED (自動体外式除細動器)

心臓が重大な不整脈(細動)になった時に
電気ショックで心拍を元のリズムに戻し、救
助するために不可欠な機器(AED=自動体
外式除細動器)の扱いを習得します。